

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年12月03日

計画の名称	安全・安心な都市空間創出計画													
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	藤枝市													
計画の目標	安全・安心な住環境を創出し、市民の命を守る防災・安全への取組を推進し、誰もが暮らしやすい環境を整備する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,771	A	1,592	B	0	C	179	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	10.1	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	橋梁長寿命化修繕191橋のうち13、0%を実施する。			
	橋梁長寿命化修繕実施数÷対象橋梁数×100	0%	8%	13%
	橋梁長寿命化修繕実施数÷対象橋梁数×100			
2	市内舗装のMC I 3未満の路線延長を50%減少させる。			
	（1－市内舗装のMC I 3未満の路線延長（H30実績）÷市内舗装のMC I 3未満の路線延長（H25実績））×100	0%	30%	50%
	（1－市内舗装のMC I 3未満の路線延長（H30実績）÷市内舗装のMC I 3未満の路線延長（H25実績））×100			
3	都市公園のバリアフリー化対策率を7%増加させる。			
	（バリアフリー化対策済み公園数÷都市公園数）×100	49%	52%	56%
	（バリアフリー化対策済み公園数÷都市公園数）×100			
4	災害時において、避難地となり得る近隣公園面積を8%増加させる。			
	（整備済み近隣公園面積÷避難地となり得る近隣公園整備面積）×100	92%	96%	100%
	（整備済み近隣公園面積÷避難地となり得る近隣公園整備面積）×100			
5	都市公園の遊具に係る長寿命化対策率を13%増加させる。			
	（長寿命化対策済み遊具数÷都市公園の遊具数）×100	13%	20%	26%
	（長寿命化対策済み遊具数÷都市公園の遊具数）×100			
6	災害時に住民が避難する避難場所の防災倉庫の整備率を100%にする。			
	（本計画での防災倉庫整備箇所数＋市内整備済箇所数）÷市内全計画箇所数×100	94%	97%	100%
	（本計画での防災倉庫整備箇所数＋市内整備済箇所数）÷市内全計画箇所数×100			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	－	安全・安心対策緊急総合 支援事業	公園施設のバリアフリー化	藤枝市	■	■	■	■	■	150		－
	A12-002	公園	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	－	水守中央公園整備事業（ 近隣公園）	面積 A=1.07ha	藤枝市		■	■	■	■	250		－
	A12-003	公園	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	－	長寿命化対策支援事業	公園施設の改築・更新	藤枝市		■	■	■	■	120		－
											小計						520		
市街地整備事業	A13-004	都市防災	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	－	都市防災総合推進事業	防災備蓄倉庫整備 N=4棟	藤枝市		■	■	■		4		－
											小計						4		
道路事業	A01-005	道路	一般	藤枝市	直接	藤枝市	市町村 道	修繕	橋梁長寿命化修繕（橋 長15m未満）	橋梁修繕 N=23橋（H26～H 30）	藤枝市	■	■	■	■	■	181		策定中

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-006	道路	一般	藤枝市	直接	藤枝市	市町村 道	修繕	一・二級市道他舗装修繕	舗装改良 L=5.0km	藤枝市	■	■	■	■	■	380		未策定
	A01-007	道路	一般	藤枝市	直接	藤枝市	市町村 道	修繕	橋梁耐震対策	橋梁耐震化 N=5橋	藤枝市		■	■	■	■	358		—
	A01-008	道路	一般	藤枝市	直接	藤枝市	市町村 道	点検	橋梁長寿命化点検	橋梁点検 N=240橋（H26～ H30）	藤枝市	■	■	■	■	■	105		策定済
	A01-009	道路	一般	藤枝市	直接	藤枝市	市町村 道	点検	道路ストック（盛土・ 法面・擁壁）点検	L=24.1km	藤枝市	■					11		未策定
	A01-010	道路	一般	藤枝市	直接	藤枝市	市町村 道	点検	道路ストック（トンネ ル）点検	藤の里トンネル N=1箇所	藤枝市			■			3		未策定
	A01-011	道路	一般	藤枝市	直接	藤枝市	市町村 道	修繕	橋梁長寿命化修繕（橋 長15m以上）	橋梁修繕 N=2橋（H29～H3 0）	藤枝市				■	■	30		策定済
											小計						1,068		

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											合計						1,592			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	－	大井川河川敷防災広場整備事業	防災広場整備	藤枝市	■					53		－
		都市防災総合推進事業と一体となって防災関係機関集結地として大井川河川敷防災広場を整備し、集積された物資を防災備蓄倉庫に円滑に供給し安全安心な生活の実現を図る。																	
											小計						53		
都市公園・緑地等事業	C12-002	公園	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	－	水守地区公園整備事業（3街区公園）西・東・南	街区公園整備	藤枝市		■	■	■	■	126		－
		水守中央公園と一体的に初期避難地としての機能を持つ街区公園 3 箇所を整備することにより、災害時要援護者への配慮と避難地での混乱を抑制し、地域住民の安全性の向上を図る。																	
											小計						126		
											合計						179		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
藤枝市都市建設部にて評価を実施	令和２年度
	公表の方法
	藤枝市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・橋梁長寿命化修繕工事により、橋梁の健全性と利用者の安全性が向上し、将来の維持管理コストを縮減することができた。 ・安全・安心対策緊急総合支援事業により、都市公園のトイレ、乗入部や園路のバリアフリー化を実施し、来園者の誰もが利用しやすい環境整備を推進することができた。 ・水守中央公園（近隣公園）整備事業により、旧東海道松並木の残る歴史的価値や緑あふれる空間を活かした、市民の交流と健全な心身を育む場の創出とともに、地域住民の一次避難地や応急仮設住宅建設予定地となる防災拠点整備を推進することができた。 ・都市公園施設長寿命化対策支援事業により、老朽化が進んだ遊具を改修し、安全・安心な施設整備を推進することができた。 ・防災備蓄倉庫の整備により、災害時に効果的な備蓄物資供給ができる環境が増強され、防災力を強化することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・２３９橋と２トンネルの定期点検により、５年に１回の一巡目点検が完了し、現在の健全度が明らかとなり、的確な修繕推進環境を整備することができた。 ・橋梁耐震対策の実施により、３橋の耐震補強工事が完了し、南海トラフ巨大地震に対する緊急輸送路等の防災・減災・強靱化を推進することができた。 ・災害時一次避難地として位置づけられる水守中央公園(近隣公園)とともに、水守東公園、水守西公園が地域住民の憩いの場と避難場所として一体的に整備され、地域の交流・安全・安心を推進することができた。

○特記事項（今後の方針等）

- ・橋梁、トンネル、舗装等の主要インフラの適正なメンテナンスを継続するとともに、耐震補強によって、インフラ施設の防災・減災・強靱化を推進する。
- ・舗装MCI３未満の改良実施率が低調であったため、今後舗装長寿命化計画を策定し、舗装改良を推進し、安全・安心な舗装環境確保に努める。
- ・都市公園遊具の長寿命化対策実施率が低調であったため、藤枝市公園施設長寿命化計画に基づき積極的に財源を確保し、遊戯施設の長寿命化対策を推進し、安全・安心な公園環境確保に努める。
- ・防災備蓄倉庫の維持管理、及び備蓄物資の適正な更新や維持管理に努める。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	主要 1 9 1 橋の橋梁長寿命化修繕実施率		
	最 終 目標値	13%	
	最 終 実績値	13%	
2	舗装MCI 3 未満の改良実施率		
	最 終 目標値	50%	平成 2 6 年度から橋梁点検を開始したところ、想定以上に損傷が進行していたため、社会的影響が大きい橋梁修繕を、舗装改良よりも優先的・集中的に実施する必要があったから。
	最 終 実績値	17%	
3	都市公園バリアフリー化対策実施率		
	最 終 目標値	56%	当初設定した目標では、平成 2 6 年度～平成 2 8 年度の 3 箇年で 9 公園のバリアフリー化を予定していたが、来園者が安全安心に利用できる公園とするため、計画期間を平成 3 0 年度までの 2 箇年延長し、 1 8 公園でバリアフリー化を実施したため。
	最 終 実績値	68%	
4	災害時の避難地となり得る近隣公園整備率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
5	都市公園遊具の長寿命化対策実施率		
	最 終 目標値	26%	当初設定した目標では、遊戯施設 6 0 基について長寿命化対策を実施する予定であったが、他事業との調整により予定していた事業費が確保できず、対策を実施することができた施設が 3 8 基となったため。
	最 終 実績値	22%	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
6	災害時に住民が避難する避難場所の防災倉庫整備率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	

社会資本総合整備計画(防災・安全交付金) 参考図面

計画の名称	79 安全・安心な都市空間創出計画		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)	交付団体	藤枝市

